

生徒の皆様へ

R6.1.1 能登半島地震から、2週間が経ちました。犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この大規模地震により、校舎・寮・テニスコートなど大きな被害を受けました。また、学校がある上野ヶ丘地区の家屋や道路なども目を覆いたくなるような光景でした。現在は少しずつ復旧していますが、水道やトイレは使えない状態です。新年の幕開けに厳しい試験が襲い、とても辛くやるせない気持ちです。学校再開に向けて前を向こうと教職員一丸となり行動していますが、ふと立ち止まると涙があふれます。しかし、生徒や教職員全員が無事だったことは何より嬉しく思っておりますし、復旧・復興に向け、皆な（生徒・保護者・教職員・地域等）で頑張り抜く決意です。

さて、今日から少しずつ学校モードに戻していきます。校舎・寮・通学路の安全が確認されるまで、また、交通機関が復旧するまで、国家試験組は対面・オンラインのハイブリッド授業（鹿西高校校舎）、その他のクラスは当面オンライン授業を行いたいと思います。授業時数も徐々に増やしていく予定です。看護・福祉ともに国家試験受験資格取得に必要な学習内容を習得しなければなりませんので、生徒の皆さんはそれを意識して授業や課題に取り組んでください。また、今回の体験を無駄にせず、我々の役割は何か、今すべきことは何かなど各々が考え行動に移してほしいと思います。特に、国家試験を控えた32H、専攻科2年生は、厳しい環境下で不安や緊張も高まっていると思いますが、ここまで乗り越えてきた自分を信じ最後の追い上げを本番まで続けてください。高いモチベーションを維持できれば、試験当日も力を発揮できます。絶対に全員で合格しましょう！

現在、本校格技場・第1体育館は避難所となっております。発災当日は250人以上の住民が避難されてきましたが、今はその半数くらいです。2週間経ち心身の疲労も限界にきていると思われませんが、住民の皆さんは食事や掃除など協力して役割を担って生活しておられます。ある避難者の方は「生徒さんは大丈夫か、国家試験あるのに、わしらがここにいたら、勉強できないのでは？生徒さんを大事にしてやってくれ」と心配していました。改めて

学校は地域の皆さんに支えられていると実感しました。学校も地域も元気を取り戻せるように、お互いできる事を行っていきましょう。（皆さんの中で、避難所ボランティアなど考えている生徒がいましたら、学校に相談してください）

災害はいつ起こるかわかりません。余震も続いています。常に「命を守る」ことを第一に考えた行動や備えをお願いします。なお、今回の地震による心身の不調や今後の学校生活に不安のある生徒は、いつでも学校に相談してくださいね。

R6.1.15 石川県立田鶴浜高等学校

校長 赤島 あけみ



チーム田鶴浜 皆なで復興